

小平市議会定例会 一般質問通告書

1 一括質問一括答弁方式

② 一問一答方式

質問件名 誰もが暮らしやすいまちづくりの実現に向けて

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な内容を項目別に記入してください)

現在、小平市地域包括ケア推進計画（第7期介護保険事業計画）策定が大詰めを迎えています。国の動きとして地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部改正があり、2017年6月に社会保障審議会第7期の計画に向けた基本指針案が公表されました。地域包括ケアシステムの深化・推進と掲げた中に地域共生社会の実現に向けた取組の推進をあげています。同時期に改定の小平市第四期地域保健福祉計画では、「誰もが担い手、お互いに支え合いながら、安心して暮らせる地域共生社会をめざして」と将来目標に掲げています。それは高齢者のみならず、障がい者、子ども、生活困窮者等を含む地域のあらゆる住民が役割をもち、支え合い、自分らしく活躍できるコミュニティを育成し、公的な福祉サービスを協働して、たすけあいながら暮らすことのできる社会の実現をめざすことです。今後、地域包括ケアシステムをどのように実践していくのか、以下の質問をします。

1. 地域包括ケアシステムを支える人材の確保や資質の向上のために市ができることは何か。
 - ① 認知症施策を担う人材について
 - ② 地域包括支援センターの職員体制について
 - ③ 地域支援事業の充実のため、生活支援コーディネーターや生活支援等の支え手となるボランティア、NPOの育成について
2. 介護サービスを利用しているも、多くの家族は心理的負担や孤立感を感じています。介護者への支援事業について、検証と課題を伺います。
3. ひとり一人の生活を支えるための包括的生活支援について、考えを伺います。
4. 総合事業は、住民主体の多様なサービスの担い手となるNPO等の地域活動団体との協働が実現しなければすみません。事業における協働の推進方針の必要性について見解を伺います。

上記のとおり、小平市議会会議規則題57条第2項により通告します。

2017年（平成29年）11月16日 小平市議会議長殿 小平市議会議員 氏名 平野ひろみ

受付番号【 17 】 - (1/2)

整理番号(通しNo.) …… ()